日本体験学習研究所（JIEL）とは

日本体験学習研究所（JIEL）では、1947 年 K. レヴィンたちにより人間関係の理解と改善のために開発された「ラボラトリー方式の体験学習」の基礎的な研究とさまざまなフィールド（学校教育、企業組織、看護医療、国際協力など）における応用実践研究を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは、「人と人が特別に設計された関わる場において、“今ここ”での参加者の体験を素材（データ）として、人間や人間関係を参加者とファシリテーターとがともに実験的に探求する学習」です（津村、2009）。

K. レヴィンの思想を継承し、現代の社会のニーズに応えること、特に人間関係に関わる諸問題の解決とともに、人間が本来持つ可能性と潜在能力を探求し、社会の変革を目指すデザインと実践ができるファシリテーターとして私たちが活動し、研究やプログラムを提供して、さまざまなフィールドで活動する人々がそうしたファシリテーターになれるための支援をしています。

これらの活動を通して、ラボラトリー方式の体験学習の普及と共に生きる社会の創造をめざしています。

※JIEL とは、Japan Institute for Experiential Learning　の略称です

沿　革

2006 年	愛知県防災局の研修を受託するために任意団体として日本体験学習研究所を設立。
2012 年	「プロセス・エデュケーション―学びを支援するファシリテーションの理論と実際」津村俊充著 (金子書房) を出版。
2013 年	「実践人間関係づくりファシリテーション」日本体験学習研究所監修 (金子書房）を出版。
2015 年	一般社団法人「日本体験学習研究所 (Japan Institute for Experiential Learning: JIEL)」を設立。
2015 年	ラーニングカフェ For Change スタート
2017 年	モリコロ基金助成を受け「ESD スペシャリスト育成プロジェクト」を実施
2017 年	「つんつんのミニレクチャー　32 講」DVD4 巻セット完成
2018 年	「インターベンション・スキルズ：：チームが動く、人が育つ、介入の理論と実践」W. ブレンダン・レディ (著) 津村俊充 (監訳）林芳孝・岸田美穂・岡田衣津子 (訳）出版
2019 年	WEB ページリニューアル

NTL とは

1946 年夏の米国コネティカット州で開かれたワークショップ後、1947 年にメイン州ベセルにて全米教育協会 (National Education Association) や大学のいくつかの研究機関の協力のもとで「集団発達に関するナショナル・トレーニング・ラボラトリー（National Training Laboratories in Group Development：NTLGD)」を開催したのが NTL のはじまりです。1963 年まで全米教育協会の成人教育部門の教育機能を果たし、1967 年に NTL Institute for Applied Behavioral Science と名称を変更し非営利組織として運営されてきています。

また、ラボラトリー方式の体験学習のコアプログラムとして 70 年ほどの長い間、T グループを実施してきています。そのほかに、リーダーシップ開発やジェンダーやダイバーシティにかかわるワークショップ、組織開発に関わる多数のプログラムを開催しているラボラトリー教育の歴史ある機関です。

JIEL の代表理事・所長である津村は、日本人としては初めて NTL のインターナショナルメンバーとして認定されて、日本でラボラトリー方式の体験学習の普及に努めています。

NTL Institute　ntl.org　Since 1947　empower | impact | transform

JIEL JAPAN INSTITUTE FOR EXPERIENTIAL LEARNING

一般社団法人
日本体験学習研究所

代表理事・所長：津村　俊充

〒468-0015 名古屋市天白区原 1 丁目 2304
ライオンズマンション原 102 HCC 内
（地下鉄鶴舞線「原」駅 1 番出口）

電話＆FAX（052）804-1889
e-mail　desk@jiel.jp
Website　http://www.jiel.jp

◆地下鉄で来られる場合◆

地下鉄「原」駅の 1 番出口が最寄りとなります。第三銀行のあるスクランブル交差点を右折し道なりに進み、
原郵便局の先を左折したところにある、レンガ色のライオンズマンション原の1Fです。
2番出口から出られた場合は、ファミリーマート沿いに進み、すぐに左折をし直進すると原郵便局のある三叉路に出ます。

公開講座　教材開発　受託研修　コンサルテーション　出　版　研究会

共に生きる社会の創造をめざして

2019-2020 プログラムガイド PROGRAM GUIDE

私たちのミッション

ラボラトリー方式の体験学習を通して

◎ かかわり合いの中でお互いが成長できる社会
◎ 違いを認め、違いを活かし合う社会
◎ 自分たちの力で変えていけると実感できる社会　を創造します

JIEL JAPAN INSTITUTE FOR EXPERIENTIAL LEARNING

一般社団法人 **日本体験学習研究所**

ごあいさつ

2015 年 4 月に一般社団法人日本体験学習研究所 (Japan Institute For Experiential Learning: JIEL と略、ジャイエルと呼称）を設立しました。JIEL は「共に生きる社会の創造をめざして」、ラボラトリー方式の体験学習を中心とした活動を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは「特別に設計された人と人が関わる場において、“ 今ここ ” での参加者の体験 (プロセス) を学びの素材として、体験学習の循環過程を活かして人間や人間関係を参加者とファシリテーターとが共に探求する学習」です (下図参照)。

特に、ラボラトリー方式の体験学習として生まれた T グループ（T とは Training の頭文字）をコア・プログラムと位置づけ、その発展的講座を多数開催しています。

地域の人々の暮らし、とりわけ人と人とのつながりを大切にした生活の創造をめざした基礎的な講座を開催しています。

学習者中心の学びの場づくりの実践、企業・組織・コミュニティにおいて一人ひとりが大切にされる組織活動やチーム活動の実践、また医療現場で医療従事者による最高のケアサポートの実現など、それぞれの現場での人間尊重を基盤としたラボラトリー方式の体験学習の応用実践研究を行っています。

JIEL が主催する各種公開講座をはじめ、体験学習実践研究会やラーニングカフェ For Changeなどへのご参加をお待ちしています。

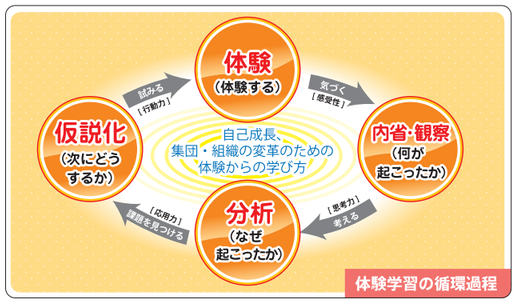
皆様からのご要望にお応えし、医療現場、企業・組織内教育、コミュニティづくり、学校教育現場などでラボラトリー方式の体験学習の応用実践のコンサルティングも行っていますので、WEB ページなどを通してお気軽にご相談ください。

今後とも JIEL の活動へのご支援を心よりお願い申し上げます。

2019 年 4 月 1 日
一般社団法人　日本体験学習研究所
代表理事・所長　津村　俊充

目　次

ごあいさつ・目次 ---------- 2
JIEL の主な活動 ---------- 3
ラボラトリー体験学習基礎講座 ---------- 4 ～ 5
人間関係づくり基礎講座（12 講） ---------- 6 ～ 7
T グループ（人間関係トレーニング） ---------- 8 ～ 11
T グループファシリテーター・トレーニング ---------- 12 ～ 13
グループプロセス・コンサルテーション ---------- 14 ～ 15
チーム診断コンサルテーション ---------- 16 ～ 17
AI アプローチ基礎講座 ---------- 18
AI アプローチ応用講座 ---------- 19
共感でつながるアサーション ---------- 20
セルフサイエンス ---------- 21
インタープリター・トレーニング ---------- 22
未来を創る人の「輪」プロジェクト ---------- 23
体験学習実践研究会 & AI アプローチ実践研究会 &
ラーニングカフェ for Change ---------- 24
受託研修（コンサルテーション） ---------- 25
JIEL の出版物 ---------- 26
DVD 教材　つんつんのミニレクチャー 32 講 ---------- 27
スタッフ紹介 ---------- 28
受講申込 ---------- 29
年間スケジュール ---------- 30 ～ 31



※ラボラトリー方式の体験学習では、グループワークなど体験 (実習) をした後で、話題や課題の内容や結果である「コンテント」よりも体験の中で起こっていた気持ちや考えたことなど「プロセス」に光をあてふりかえります。そのデータをもとにファシリテーターと共に体験学習の循環過程を通して学びを深めます。この循環過程を繰り返すことで、変化・成長の螺旋的展開が生まれると考えています。

日本体験学習研究所（JIEL）の主な活動

JIEL は、グループダイナミックスの創始者と言われる K. レヴィンと研究仲間たちにより、1946 年に創始・開発されたラボラトリー方式の体験学習を核として、人間関係のありようを探求するためのトレーニング・プログラムの開発と実践を行っています。トレーニング・プログラムを通して、対人関係、グループやチーム、組織において相互に学び合い、成長し合える “ 共に生きる社会づくり ” を目指しています。

その実現のために、「公開講座」をはじめ、「実践研究会」や「ラーニングカフェ」の開催、「体験学習実践研究」誌の発行、「コンサルテーション」、プログラム開発などを行っています。

「公開講座」は 6 つのテーマに分けられます。

◎ 公開講座

体験学習の基礎を学ぶ
- ◇ラボラトリー体験学習基礎講座～プロセスから学ぶ私の人間関係～
- ◇人間関係づくり基礎講座（12 講）
- ◇体験学習実践研究会（年 7 回実施）

共に生きることを探求する
- ◇T グループ（人間関係トレーニング）年 4 回開催

人とかかわる私を探求する
- ◇ラボラトリー体験学習基礎講座～プロセスから学ぶ私の人間関係～
- ◇人間関係づくり基礎講座（12 講）
- ◇T グループ（人間関係トレーニング）年 4 回開催
- ◇共感でつながるアサーション～感情とニーズに寄り添う自己表現～
- ◇セルフサイエンス

◎真価の探求（AI）を学ぶ
- ◇ AI アプローチ基礎講座～ 4 D サイクルを体験し学ぶ～
- ◇ AI アプローチ応用講座～
  アプリシエイティブ・リーダーシップを学ぶ～
- ◇ AI アプローチ実践研究会（上記講座参加者限定）

◎チーム・組織に働きかける
- ◇ T グループファシリテーター・トレーニング
- ◇チーム診断コンサルテーション
- ◇グループプロセス・コンサルテーション

◎自然・人をつなぐ人づくり
- ◇インタープリター・トレーニング
- ◇未来を創る人の「輪」プロジェクト
- ◇ラーニングカフェ For Change（年 11 回開催）

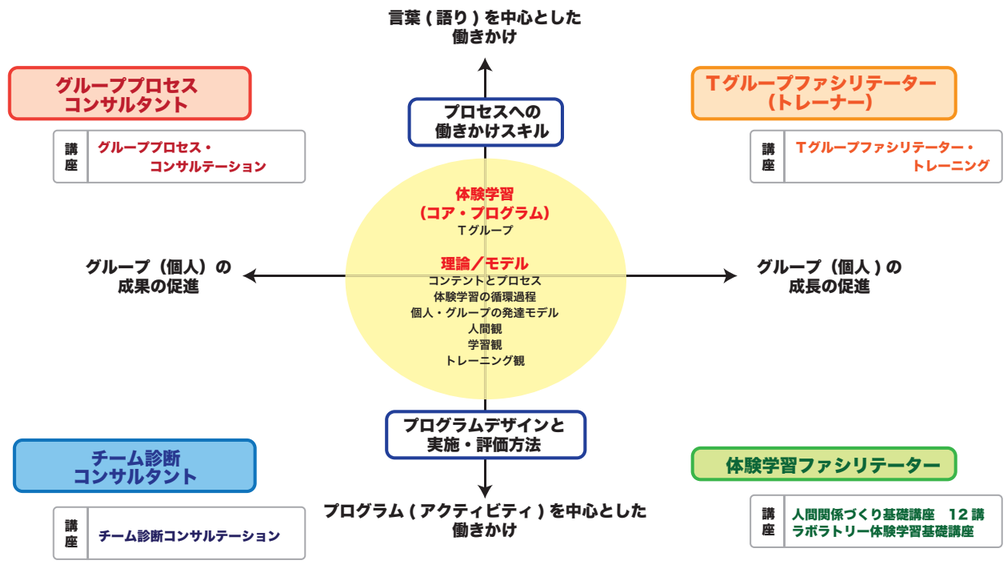
公開講座の他に、交流から学ぶ場、研究誌の発行、受託による研修やコンサルテーション及びそれらのご相談などを行なっています。

◎ 交流から学ぶ

- ◇ ラーニングカフェ For Change
- ◇ 体験学習実践研究会
- ◇ AI アプローチ実践研究会
- ◇ グループプロセスコンサルテーション実践研究会

◎ 受託研修（コンサルテーション）

◎「体験学習実践研究」発行



“ 共に生きる社会の創造をめざして ”

ラボラトリー体験学習基礎講座　～プロセスから学ぶ私の人間関係～

グループワーク体験を通して
自己理解・他者理解・コミュニケーション・チームづくり・リーダーシップなどを学ぶ基礎講座

仕事や課題に取り組む日常のグループ活動では、その仕事や課題の内容や結果（コンテントとよびます）に焦点が当たりがちです。その活動で、一人ひとりのメンバーやお互いの関係の中で起こっていること（気持ちや考えていることなどをプロセスとよびます）にも目を向け、それらを生かすことができれば、個人の思いが大切にされるグループになり、グループは成長し、仕事や課題が充実した結果になると共にグループメンバー一人ひとりの成長も可能となります。

この講座は、一日目にコミュニケーションプロセス、二日目にグループプロセスに焦点を当て、ラボラトリー体験学習の基礎的なモデルや理論を紹介しながら、参加者の体験を通して個人やグループの中で起こるプロセスを観る視点を学びます。さらには、グループの中での私やグループダイナミックスに気づき、グループや私が成長するヒントを学ぶ基礎講座です。

＜こんなことが学べます＞

●ラボラトリー方式の体験学習による学びの基礎的な考え方と具体的な進め方について体験を通して理解が深まります

●グループワークをおこなう過程で生まれるプロセス（メンバーの参加の仕方、コミュニケーションのありよう、意思決定、リーダーシップなど）に気づくことができます

●グループ・ファシリテーターとして実践する際の自分のありよう（他者との関わり方、チームの中での自分の影響など）について、自ら気づくとともに、メンバー相互にフィードバックをしあうことを通して、学ぶことができます

このようなことを目指している方にお薦めします

○ラボラトリー方式の体験学習を基礎から学んでみたい人
○グループワークによる体験学習やアクティブラーニングなどのグループダイナミックスを生かした学びの場を提供しようとされている教育関係者
○日常生活での人とのかかわり方を見直したい人

●学校教育関係者　●企業内研修担当者　●カウンセラー
●キャリアコンサルタント　●組織開発（OD）コンサルタント
●人と人とのつながりを創ろうとされている方　　その他

参加者の声

- グループの中で、自分が人とどのようにかかわろうとしているかを捉えることができた。新たな課題も見えた気がする。
- 体験的に、グループプロセスについて学ぶことができた。素敵な仲間と出会うことが出来た。
- 現場で使える材料が増えた。
- 体験と理論を丁寧に学ぶことができた。
- どちらかというと、ワーク（体験）よりも理論を学びたかったのですが、ワークがあることで、理解が深まったと思います。
- 少人数でしたが、多様な方と出会い、理論と実習を学べ、プロセスをじっくり味わうことができました。
- グループ・ダイナミクスの全体像が知れた。グループと自分の関係性にしっかり目を向けることが出来た。
- 丁寧なふりかえりを通して、自分がグループの中でどのような役割を果たしていたか、意識・無意識の両面から理解することができた。また、他者の行動、思考のふりかえりからも、気づきを得ることが多くあった。
- 仕事上での自分の態度や発言のふりかえりと改善に役立ちそう。
- 自分と他の人との関わりについて、深く学べたことは大変意味がありました。
- 「チームをつくること」これからの自分のミッションになりました。

＜定員・参加費（各回共通）＞
定　員：各回 18 名
参加費：2 日間通し参加 21,600 円（税込）
　　土日どちらか 1 日のみ参加 12,960 円（税込）
担当者：津村　俊充　他

第 14 回【名古屋開催】	
日　程	2019 年 6 月 8 日（土）9:30 ～ 17:30 2019 年 6 月 9 日（日）9:30 ～ 17:30
会　場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 〒 468-0015 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX　052-804-1889

第 15 回【東京開催】	
日　程	2019 年 7 月 27 日（土）9:30 ～ 17:30 2019 年 7 月 28 日（日）9:30 ～ 17:30
会　場	（株）みくに出版　セミナールーム 〒 150-0021　東京都渋谷区恵比寿西 2 丁目 3-14 日能研恵比寿ビル

第 16 回【京都開催】	
日　程	2019 年 10 月 26 日（土）9:30 ～ 17:30 2019 年 10 月 27 日（日）9:30 ～ 17:30
会　場	未　定

第 17 回【沖縄開催】	
日　程	2019 年 11 月 16 日（土）9:30 ～ 17:30 2019 年 11 月 17 日（日）9:30 ～ 17:30
会　場	未　定

第 18 回【福岡開催】	
日　程	2020 年 2 月 1 日（土）9:30 ～ 17:30 2 日（日）9:30 ～ 17:30
会　場	〒 812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-17-21 ライジング・サンソーラービル 3 階

プログラムの例

一日目：「コミュニケーションプロセスから学ぶ」	
9:30	挨拶：　チェックイン（自己紹介） 私の体験を語る「コンテントとプロセス」 実習 1　「流れ星」実習とふりかえり インタビューとコメント
12:00	小講義「コミュニケーションのプロセスとは」
	昼　食
13:00	実習 2　「きく」実習とふりかえり＆インタビューとコメント 小講義「援助的なかかわりに大切なコミュニケーション」 実習 3　「コンセンサス実習」実習とふりかえり インタビューとコメント
17:00	チェックアウト

二日目：「グループプロセスから学ぶ」	
9:30	挨拶：　チェックイン（自己紹介） 私の体験を語る「コンテントとプロセス」 実習 1　「ミニグループワーク」実習とふりかえり インタビューとコメント
12:00	小講義「グループのプロセスとは」
	昼　食
13:00	実習 2　「問題解決実習」実習とふりかえり＆インタビューとコメント 小講義「JOHARI の窓：フィードバックの留意点」 実習 3　「タワービルディング」実習とふりかえり インタビューとコメント
17:00	チェックアウト

プロセス・エデュケーション
学びを支援するファシリテーションの理論と実際

津村俊充著　金子書房 B5 判並製 ● 242 頁

定価 2,940 円（本体 2,800 円＋税）

2012 年 10 月 31 日発行

ISBN 978-4-7608-3254-5

学校教育，看護・医療教育，組織・企業内の教育の現場で，コミュニケーション能力やファシリテーターのリーダーシップ能力育成をするために，プロセスを大切にした教育実践の理解と実践によるアプローチ法を詳解する。ユニークな人間関係づくりトレーニングの体験学習エクササイズ例も満載の一冊です。

人間関係づくり基礎講座（12 講）～人間関係づくりの基礎を体験しながら学ぶ～

「体験から学ぶ」ことの入門講座として「実践　人間関係づくりファシリテーション（金子書房）」をテキストにし、各章の内容を紹介します。ボラトリー方式の体験学習を楽しみながら学んでいただく講座です。
体験学習が初めての方から体験学習を実施しているファシリテーターの方までご参加いただけます。

実践 人間関係づくりファシリテーション

監　修　　津村俊充　星野欣生 編　金子書房
　　B5 判並製　192 頁
定　価　　本体 2,300 円＋税
発　行　　2013 年 12 月 27 日
ISBN　　978-4-7608-2647-6　C3011

本書は、人間関係づくりトレーニングの実践において 10 のテーマをとりあげ、学習者とともに学ぶファシリテーターの実践を紹介しています。座学として学ぶだけではなく、体験を通してともに学べるように、楽しいエクササイズを紹介しながら、学校や職場、地域やコミュニティの領域まで人間関係づくりの可能性を紹介しています。2019 年度は各章の順番ではなく、小講義や実習の内容を踏まえて、新たな組合せで開催します。最終回は第 1 章と第 12 章で人間関係ファシリテーションの人間観と教育プログラムづくりを扱います。どの章からでも参加可能です。12 講をお楽しみください。

＜目次＞

第 1 章　「ファシリテーションの人間観」
　ファシリテーションは人をどうみているか
第 2 章　「場をつくる」
　気持ちのわかちあいが安心の場をつくる
第 3 章　「ひらく」
　語ること・聴くことからかかわりはひらく
第 4 章　「観る」
　今ここのプロセスをありのままに観る
第 5 章　「気づく」
　気づきより新しい私に出会う
第 6 章　「受け容れる」
　受け容れることからかかわりが変わる
第 7 章　「決める」
　私が決めることは生きる責任をもつこと
第 8 章　「働きかける」
　プロセスに働きかける
第 9 章　「ふりかえる」
　体験をふりかえることで学びになる
第 10 章　「共に成長する」
　かかわりを通して共に成長する
第 11 章　「つながる」
　対話がつながりを創り出す
第 12 章　「教育プログラムをつくる」
　プログラムデザイナーとしてのファシリテーター

※各回参加シールをお渡ししています。参加者の皆様にはシールコレクションを楽しんでいただいています。
　全コース終了後、実践人間関係づくりファシリテーション 12 講の修了証をお渡しします。

会　場	いずれの回も ヒューマンコラボレーションセンターＨＣＣ 名古屋市天白区原一丁目 2304　ライオンズマンション原 102　HCC　TEL/FAX　052-804-1889
定　員	いずれの回も 12 名
参加費	各章　3,780 円（税込） 午前・午後通しでご参加の場合には、6,480 円（税込）となります。

第 2 章「場をつくる」
～気持ちのわかちあいが安心の場をつくる～

一人ひとりが自由に発言・行動できる雰囲気の「場をつくる」過程において、どのような働きかけや配慮が必要かを共に学び合っていきましょう。

日程	2019 年 10 月 12 日（土）10:00 ～ 13:00
担当者	岸田美穂・林　芳孝

第 5 章「気づく」
～気づきより新しい私に出会う～

自分自身のものの見方やとらえ方への気づきを深めるために、「ジョハリの窓」のモデルを活用した実習「私の心の窓」を体験しながら、「自己開示」と「フィードバック」を学びます。

日程	2019 年 10 月 13 日（日）10:00 ～ 13:00
担当者	林　芳孝・水野節子

第 6 章「受け容れる」
～受け容れることからかかわりが変わる～

グループワーク体験を通して、「受け容れる」ことからどのような影響関係が生まれ、課題達成に向けていかに働きかけることができたかをふりかえり、学びます。

日程	2019 年 10 月 26 日（土）10:00 ～ 13:00
担当者	水野節子・岸田美穂

第 7 章「決める」
～私が決めることは生きる責任をもつこと～

テキストに紹介されているグループ実習を体験し、自分やグループはどのように意思決定をしているか、そのことがメンバーやグループにどのように影響しているかを学びます。

日程	2019 年 10 月 27 日（日）10:00 ～ 13:00
担当者	岸田美穂・鈴木由子

第 3 章「ひらく」
～語ること・聴くことからかかわりはひらく～

AI(アプリシェイティブ・インクワイアリー）の紹介とハイポイントインタビューを通して、かかわりが深まる体験、心がひらくかかわりの体験が実現されることを願っています。

日程	2019 年 11 月 16 日（土）10:00 ～ 13:00
担当者	鈴木由子・林　芳孝

第 1 章「ファシリテーションの人間観」
～ファシリテーションは人をどうみているか～

ファシリテーター役とオブザーバー役を決めて、グループ実習体験をし、参加者、ファシリテーター役、オブザーバー役それぞれのふりかえり・分かち合いを通してファシリテーターについて学びます。

日程	2019 年 11 月 17 日（日）10:00 ～ 13:00
担当者	林　芳孝・鈴木由子

第 4 章「観る」
～今ここのプロセスをありのままに観る～

参加者グループの中で、ワークをする人とオブザーブする人に分かれ、オブザーバー役はそこで " 起こっている " ことを丁寧に観る体験を通して、観る視点やスキルを学びます。

日程	2019 年 10 月 12 日（土）14:00 ～ 17:00
担当者	林　芳孝・岸田美穂

第 9 章「ふりかえる」
～体験をふりかえることで学びになる～

「ふりかえり」とは、体験学習の循環過程の中で、「体験」後の「指摘」、「分析」、「仮説化」にあてはまりますが、それらの体験を 2 回の実習を通して丁寧に取り組んでいきます。

日程	2019 年 10 月 13 日（日）14:00 ～ 17:00
担当者	水野節子・林　芳孝

第 10 章「共に成長する」
～かかわりを通して共に成長する～

お互いの成長にどのようにかかわれるのかを意識しながら実習に取り組み、共に学び合う場づくりや自分や他者が成長していくために大切なことを参加者の方と一緒に考えます。

日程	2019 年 10 月 26 日（土）14:00 ～ 17:00
担当者	岸田美穂・水野節子

第 8 章「働きかける」
～プロセスに働きかける～

「グループプロセス」という視点を知っていただき、グループが課題を達成しながら、どのように「プロセス」に働きかければよいかを共に学び、考えていきたいと思います。

日程	2019 年 10 月 27 日（日）14:00 ～ 17:00
担当者	鈴木由子・岸田美穂

第 11 章「つながる」
～対話がつながりを創り出す～

まちの公園づくりをテーマに話しながら、一人ひとりの違いを豊かさとして受け容れ、それぞれの思いを生かし合うことができるか、真の民主主義とはどういうものかを参加者と共に考えます。

日程	2019 年 11 月 16 日（土）14:00 ～ 17:00
担当者	林　芳孝・鈴木由子

第 12 章「教育プログラムをつくる」
～プログラムデザイナーとしてのファシリテーター～

参加者がグループになって「教育プログラムをデザインする際に大切なこと」を話し合い、発表し合うことを通して、プログラムデザインに共通の要素と大切な視点を学びます。

日程	2019 年 11 月 17 日（日）14:00 ～ 17:00
担当者	鈴木由子・林　芳孝

Ｔグループ（人間関係トレーニング）

私たちはグループや組織の中で生きています。それは家族であったり、会社や学校といった職場であったり、プライベートな仲間同士、地域の人たちとのつながりであったりします。“わたし”とは違うさまざまな人たちが集まって、その組織が成り立っています。違いがあるのはわかっていても、その違いで悩んだり、苦しんだり、人を責めたりします。その違いを認め、生かし合い、互いの尊厳を大切にし、信頼関係を築き上げることができたら、私たち一人ひとり、そして私たちが生きるこの社会はより幸せなものになるのではないでしょうか。

Ｔグループ（Ｔはトレーニングの略）とは、1947 年から始まった、人間理解やリーダーシップなど相互にどのように影響し合っているかなどを“今ここ”での体験を通して、参加者一人ひとりのありようやグループダイナミックスを、またリーダーシップを発揮することなどを探究する学びの場です。ラボラトリー・トレーニングとか、ラボラトリー方式の体験学習と呼ばれるのは、1947 年にスタートしたＴグループが、「Human Interaction Laboratory In Group Dynamics」と呼ばれたことによります。

Ｔグループは、狭義にはＴグループ・セッションを指します。広義には、参加者全員とスタッフを含めたラーニング・コミュニティとして学び合う宿泊研修のプログラム総体をＴグループと呼んでいます。広義の合宿形式のＴグループ・プログラムは伝統的に以下の４つのプログラム要素を用いてデザインされます。

① Ｔグループ・セッション（対話による非構成のグループ体験）
② 実習教材を用いた構成的グループ体験
③ モデルや理論の紹介による概念化を促進するミニレクチャー
④ チェックリストやふりかえり用紙を用いたツールの使用

Ｔグループ・セッションでは、特に決められた課題や手続きはなく、参加者は自由に対話を続け、その場に生まれてくる人間関係（プロセス）を学習の素材として探求します。その過程で、自己理解、他者理解、受容、共感、影響関係、コミュニケーションやグループダイナミックスなど、人間関係のさまざまなことに気づき学んでいくことができます。

JIEL 主催のＴグループは、歴史ある哲学と学習方法を踏襲し、伝統的な５泊６日の期間の実施にこだわり、「一人ひとりを尊重し、人々とのつながりが生まれ、共に生きること」を探求するラボラトリー・トレーニングの実現をめざしています。

Ｔグループは、JIEL 主催のすべての公開講座のコア・プログラムです。どのプログラムよりも先にご参加されることをお勧めします。

※このトレーニングでは、各セッションでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習素材とするために、同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、ご承認のもとお申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

※Ｔグループファシリテーター（トレーナー）の学びのステップを修了したとしても、必ずしもコ・ファシリテーターを体験することを確約するものではありません。

Ｔグループトレーナーとして参加
コ・ファシリテーター体験
↑
Ｔグループ合宿研修の事務局体験
事務局ワークからラボラトリーの総合的な合宿運営を学ぶ体験
↑
Ｔグループオブザーブ体験
オブザーバーの視点からＴグループや合宿運営を学ぶ体験
↑
Ｔグループファシリテーター トレーニングへ参加 p.12
ファシリテーター養成役割を担いトライアル体験
↑
Ｔグループへ参加
グループプロセスから学び生きる基本的な体験

Ｔグループファシリテーター（トレーナー）を目指される方の学びのステップ

2018年度 JIEL 第8回 Tグループ

＜日程例＞

2018年6月2日～7日開催

	6月2日(土)	6月3日(日)	6月4日(月)	6月5日(火)	6月6日(水)	6月7日(木)
7:30		朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
8:30						チェックアウト
9:00		T2 各グループ室	T6 各グループ室	T9 各グループ室	T12 各グループ室	
9:15						全体会(6)「現場に向けて」 全体会室
10:15		ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	
10:30		休憩	休憩	休憩	休憩	
11:00		T3 各グループ室	T7 各グループ室	T10 各グループ室	T13 各グループ室	閉会 全体会室
12:00						昼食
12:15		ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	
12:30		昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00						解散
		自由	自由	自由	自由	フォローアップでお会いしましょう！ 2018年 9月9日(日) 10：00～16：00 HCCにて（名古屋）
14:00	受付					
14:30	開会 全体会(1)「私の窓」		全体会(3)「ハナブサ・フィギアーズ」	全体会(4)「私・グループの表現」	全体会(5)－1「Tグループのふりかえり」	
15:00		全体会(2)「少人数で分かち合う」				
15:45		休憩				
16:00		T4 各グループ室				
17:00			自由	自由	全体会(5)－2「Tグループのふりかえり」	
17:15		ふりかえり用紙記入				
17:30	自由	自由				
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
19:15	T1 各グループ室	T5 各グループ室	T8 各グループ室	T11 各グループ室	全体会(5)－2（つづき） 各グループ室	
20:30	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入	ふりかえり用紙記入		
20:45						
20:50						
21:00	夜のつどい(1)	夜のつどい(2)	夜のつどい(3)	夜のつどい(4)	夜のつどい(5)	
21:10						
21:20						
21:25					コミュニティーアワー	
22:30						

グループセッション
全体セッション

参加者の声（アンケートより）

Ｔグループ参加後：
- かかわりを持つことで、自分も成長できて、相手にも成長のきっかけを与えているということも気づきました。
- 自分自身が大切にしたい価値観、人と人との関係性、かかわり方の癖に気づいた。
- 人の輪にいながらの温かい感覚。人と向き合うことの難しさを学んだ。
- 様々な価値観と環境の違うメンバーと共に過ごし、そこに生まれていく温かさと思いやり、認めあえる場ができ上がっていくことを１つ１つ体験することができ、日常にもおこせるんだと思いました

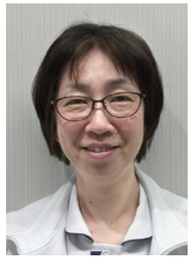
Ｔグループフォローアップ参加後：
- 皆に会えること、ふりかえりのためにきちんと時間を取り、それを共有できることに価値があると感じた。
- これからの自分について考え、言葉などで表現する機会を得られた。3 か月を経てのＴグループとそのつながりの大きさを実感した。他者の意見が聞け、触発されるものがあった。
- 意味づけをしていたつもりでしたが、グループでふりかえることで新たなＴグループの影響に気づかされました。

Ｔグループは、私たちが豊かな社会生活を送るために必要な、感受性や人間関係づくりの資質を磨くことができる最良の場の１つです。キャリアコンサルタントは、個人のキャリア発達を支援する専門家であり、言い換えれば、１人ひとりのクライエントが、より充実した人生を送るための手伝いをする存在ですが、だからこそ、まずは自分自身が「人に関わる力」をしっかりと養う必要があります。多くのキャリアコンサルタント、キャリア開発支援者が参加されることを願っています。

キャリアコンサルティング技能士会　副代表幹事　文川　実

看護師は、患者･家族さん、院内外の多職種とコミュニケーショなしでは、成立しない仕事です。難しい場面も多く、現場をよくする＋αはないか、とＴグループに参加しました。

初めて出会う仲間と、対話し、観察し、仮説を立て、振り返りを続けました。それを続けていくことは、苦痛でもあり、驚きや発見もあり、時に楽しく、不思議な時間でした。見えてきたのは、“自分のありよう”です。気持ちや出した言葉、態度は、他者に影響を与え、自分に戻ってきます。Ｔグループを終え、“対応する人や集団がどのような状況か”、“私自身はどうなのか”を問い続け、Ｔの学びを思い出しながら、個と場と“いま、ここ”を大切に、臨床で働いています。



看護師・助産師（母性看護専門看護師）峰　博子

Ｔグループに出会ってから私が体験する世界が異なって見えるようになっています。それは今での日々変化しています。何故かと考えると、Ｔグループでは、自分の源に繋がって本当の声を聴き、それを表現することを徹底的にトレーニングするからだと私は思っています。

Ｔグループを初めて体験してから約１年後に大きな気づきがありました。それは私が見ている世界は私の中で創り上げているという実感を得たことです。自分の本当の感情を観察し続けると、外界の事実と自分の感情がだんだん区別できるようになるからです。そして、自分の偏った解釈の癖が分かってきます。今でも解釈にまみれていますが、徐々に理解が深まっていることを感じます。

組織開発やコーチングの仕事をしている方は、場の見立てをする時や関わる時に、自分の解釈や感情の癖を知っておくことは非常に有益だと思います。

経営コンサルタント・コーチ (ORSCC/CPCC)　黒田俊介

私はエンジニアとしてメーカーに勤務するサラリーマンです。私がＴグループ体験から学んだことは、普段の仕事の中では見過ごされていることや大切に扱われていないことに、関心をもつことの大切さです。

日々、人とのかかわりの中で仕事を行い、「今、ここにいる自分自身の気持ちに気づくこと」、「今、目の前にいる相手の想いや気持ちに寄り添うこと」、「今、目の前にいる相手と自分との関係の中で起きていることに気づくこと」、「仕事の成果だけでなく、そのプロセスにも目を向けること」を意識するようになりました。多くの人がＴグループに参加することで、それぞれの会社の中で今よりも一人一人がイキイキと働けるようになることを願っています。

会社員　エンジニア　秋山　善克

南短ニンカン（南山短期大学人間関係科の略）時代に受けたＴグループでの体験は未消化のまま、敢えて整理するでもなくそのままにあの時のあの感覚を 40 年近く連れて歩いてきました。2016 年６月Ｔグループに再び参加し、人との関わりの中で自分の生の気持ちや思い、ふっと出た行動を自分自身が受けとめることが如何に大切か。また受けとめることの難しさが身にしみて痛かった。２回のＴグループでの体験で､私という存在､あり様を常に問われているのだと感じています。私が学びたかったものは何かの方法では決してなく、自分を毎日の生活の中で活かすことから人との関わりが始まると信じる心のようなものです。そして今、私は、森のようちえんの子ども達、家族を介護する人達を支援したいと動いてます。

主婦　ボランティアとして活動中　園木　紀子

第 11 回Ｔグループ（人間関係トレーニング）

日　程	2019 年６月１日（土）14:00 受付　14:30 開会　５泊６日 2019 年６月６日（木）13:00 解散（清里駅行きバス 13:30 出発）
	Ｔグループ・フォローアップ 2019 年９月８日（日）10:00 ～ 16:00　ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充・その他
定　員	18 名
会　場	(財）KEEP 協会　清泉寮　〒 407-0311　山梨県北杜市高根町清里 3545　TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	71,000 円（税込）（予定）(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む)
	90,000 円（税込）（予定）(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

第 12 回　Ｔグループ（人間関係トレーニング）

日　程	2019 年８月 16 日（金）14:00 受付　14:30 開会　５泊６日 2019 年８月 21 日（水）13:00 終了
	Ｔグループ・フォローアップ 2019 年 11 月 10 日（日）10:00 ～ 16:00　ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充・その他
定　員	18 名
会　場	南山学園研修センター 〒 460-0934　名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩６分）　TEL052-837-6466
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	54,000 円（税込）（予定）(全室シングル利用：宿泊・食事・会場費含む) ※本施設は、南山学園の研修所です。基本的にはバス・トイレは共用です。

第 13 回Ｔグループ（人間関係トレーニング）

日　程	2019 年 10 月 12 日（土）14:00 受付　14:30 開会　５泊６日 2019 年 10 月 17 日（木）13:00 終了 (越後湯沢駅行きシャトルバス　13:30 発）
	Ｔグループ・フォローアップ 2020 年１月 19 日（日）10:00 ～ 16:00　ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充・その他
定　員	18 名
会　場	舞子高原ホテル 〒 949-6423　新潟県南魚沼市舞子 2056-108　TEL　025-783-3511
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	68,200 円（税込）(予定)(ツイン利用：宿泊・食事・会場費を含む)
	93,200 円（税込）(予定)(シングル利用：宿泊・食事・会場費を含む)

第 14 回Ｔグループ（人間関係トレーニング）

日　程	2019 年 12 月７日（土）14:00 受付　14:30 開会　５泊６日 2019 年 12 月 12 日（木）13:00 解散（清里駅行きバス 13:30 出発）
	Ｔグループ・フォローアップ 2020 年３月 22 日（日）10:00 ～ 16:00　ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充・その他
定　員	18 名
会　場	(財）KEEP 協会　清泉寮　〒 407-0311　山梨県北杜市高根町清里 3545　TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	71,000 円（税込）(ツイン利用：宿泊・食事・会場費を含む)
	90,000 円（税込) (シングル利用：宿泊・食事・会場費を含む)

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

Ｔグループファシリテーター・トレーニング

本講座はＴグループ（5 泊 6 日）の参加経験のある方を対象とした、Ｔグループファシリテーター（トレーナーと呼びます）を体験しながら、Ｔグループのファシリテーションのありようを学ぶトレーニングです。

このトレーニングの中心的なプログラムは、参加者がＴグループファシリテーター（トレーナー）役、オブザーバー役、メンバー役を交代しながら、Ｔグループ体験を積み重ねていきます。1 セッション終了ごとに、ふりかえりセッションを行います。ふりかえりセッションでは、グループのプロセスを分かち合い、トレーナーの言動を中心にトレーナー自身の内省やオブザーバーの観察のデータも活用し、またトレーナーの言動からのメンバーが受けた影響などを共有しながら、グループ体験から学ぶファシリテーションや、自分自身のグループへの働きかけの特徴などについてお互いに学びを深めていきます。

役割をもったグループ・セッションとふりかえりセッションを通して、トレーナー役やオブザーバー役はもちろんのことグループの一人のメンバーとして、グループをどのように観たか、トレーナーが何を大切にして働きかけたか、またその他の選択肢にはどのようなものがあるのかを検討します。また、メンバー一人ひとりの成長やグループの成長に気づき、働きかける視点と技能、そしてトレーナーとして大切にしたい人間観、グループ観、学習観を学んでいきます。

Ｔグループ・セッションとともにファシリテーションにかかわる概念的な理解を深めるための全体会プログラムも予定されています。

このようなことを目指している方にお薦めします

- 個人やグループの成長に関心があり、なんらかの貢献をしたいと思っている人
- 会社や学級・学校などの組織の文化や風土を変えたいと考えている人
- 人とかかわる上でプロセスを観察すること、働きかけることを学びたい人
- チェンジ・エージェントとして様々なコミュニティづくりや人間関係づくりに取り組むことに関心がある人　　など

※このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、ご了承のもとお申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

参加者の声（アンケートより）

- メンバーと深く出会うことによって、その人を知り、自分の有様を知らず知らずふりかえり、気がつけば、今まで嫌だった自分、矛盾した自分、いろいろな思いに揺れ動く自分のまるごとで生きていいと気がつくことができた。
- 自分のグループへのかかわり方を通じて、自分の人間関係へのアプローチに気づかされる経験を得ました。Ｔグループに対する経験値が異なる方がいたのも良かったです。
- メンバー同士で学び、プログラムからも学び、清里の自然にも教えてもらい、最高の体験でした。
- 人と真剣に関わること＝人を信じること　を確信することができた。日常では、薄らいでいく、自分の核を磨くことを続けたい。
- トレーナーとしての視点は、Ｔグループ以外のあらゆるトレーニングに応用できると感じたのでとても有意義だった。
- ファシリテーターの技術としても、自己理解という意味でも学ぶことが多かった。
- スタッフの方のオブザーブの視点からのコメントも気づかされることが多かったし、グループにも多様な視点があり、参加者の具体的なかかわりから得るものが多かった。
- 頭でわかっていることでも、無意識の中でできていないことが多くある。体験の中で指摘フィードバックしてもらうことで気づき腹落ちすることが多くあった。
- ファシリとしてと言うよりも、対人、対組織支援者として、またそれ以上に人としての人間観を見つめ直せたのが良かった。

2018年度　JIEL第4回Tグループファシリテーター・トレーニング

＜日程例＞　　2018年12月8日～12日開催

12月8日（土）	12月9日（日）	12月10日（月）	12月11日（火）	12月12日（水）
14:00 受付	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食
14:30 開会	8:30 モーニングセッション①	8:30 モーニングセッション②	8:30 モーニングセッション③	9:00 モーニングセッション④
全体会（1）「ねらいづくり」「TTSの進め方」	9:00 全体会（2）	9:00 全体会（3）「あなたならどうする？」	9:00 TTS7	9:30 全体会（5-1）気づき・学びを用いたモデルづくり」
「役割決め」	9:30 TTS2	「役割決め」	9:50 ふりかえり用紙記入	12:00 昼食
18:00 夕食	10:20 ふりかえり用紙記入	12:00 昼食	10:20 フィードバック・タイム	13:00 全体会（5-2）
19:15 TTS1	10:40 フィードバック・タイム	13:00 自由	11:20	14:00 全体会（6）「現場に向けて」
20:05 ふりかえり用紙記入	11:40	14:00 全体会（3）「グループダイナミクスへの働きかけについて」	12:00 昼食	16:00
20:25 フィードバック・タイム	12:00 昼食	15:00 TTS5	13:00 TTS8	グループセッション
21:30 ナイトショートセッション①	13:00 自由	15:50 ふりかえり用紙記入	13:30 ふりかえり用紙記入	全体セッション
21:50 ジャーナル記入	14:00 TTS3	16:20 フィードバック・タイム	14:20 フィードバック・タイム	
	15:00 ふりかえり用紙記入	17:20 休憩	14:50 休憩	
	15:50 フィードバック・タイム	18:00 夕食	15:50 全体会（4-1）「全体のふりかえり」	
	16:20 休憩	19:15 TTS6	16:30 夕食	
	17:20 夕食	20:05 ふりかえり用紙記入	18:00 全体会（4-2）「全体のふりかえり」	
	18:00 TTS4	20:25 フィードバック・タイム	19:15 ナイトショートセッション④	
	19:15 ふりかえり用紙記入	21:30 ナイトショートセッション③	21:00 コミュニティアワー	
	20:25 フィードバック・タイム	21:50 ジャーナル記入	21:20	
	21:30 ナイトショートセッション②			
	21:50 ジャーナル記入			

※ TTS とは、「トレーナー・トレーニング・セッション」の略称です。TTS ではＴグループを行い、メンバー、トレーナー、オブザーバーを相互に体験し、ふりかえり用紙の記入とフィードバックを行います。

第 5 回　Ｔグループファシリテーター・トレーニング

日　程	2020 年 2 月 22 日（土）14:00 受付　14:30 開会　4 泊 5 日 2020 年 2 月 26 日（水）16:00 解散
担当者	津村　俊充、川喜田　好恵、石井　宏明、河合　宗寛
定　員	16 名
会　場	（財）KEEP 協会　清泉寮 〒 407-0311　山梨県北杜市高根町清里 3545　TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：78,000 円（税込）
滞在費	58,000 円（税込）（予定）(ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む) 75,000 円（税込）（予定）(シングル利用：宿泊・食事・会場費含む)

※本講座は、5 泊 6 日のＴグループ（人間関係トレーニング）に参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。
※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

グループプロセス・コンサルテーション（GPC）　～コンサルタントとしてチームをファシリテーションする～

今日の社会の中にあって、IT 技術の進歩やグローバル化に伴い組織の変化、またさまざまな雇用形態からのダイバーシティ（多様性）をもったチームや組織の運営の難しさを感じている方が多いのではないでしょうか？

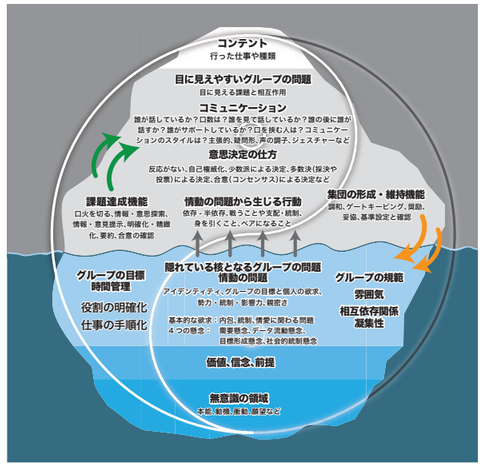
従来の階層構造的な組織運営の中にあっては、指揮命令を明確にすることーそれに従うメンバーを育てることで、業務の効率化を目指していました。しかし、今は機能していた構造が壊れ、それぞれのアイデアを生かしコミュニケーションを豊かにして、クリエイティビティ（創造性）を高める創発グループのマネジメントが求められていています。いわゆる自律型組織です。そうした活動を支援する専門家として、グループプロセス・コンサルタントの働きが重要になります。

さまざまな領域におけるプロジェクトチームに対して、そのチーム活動を活性化するための働きかけができるグループプロセス・コンサルタントに光があたりつつあります。

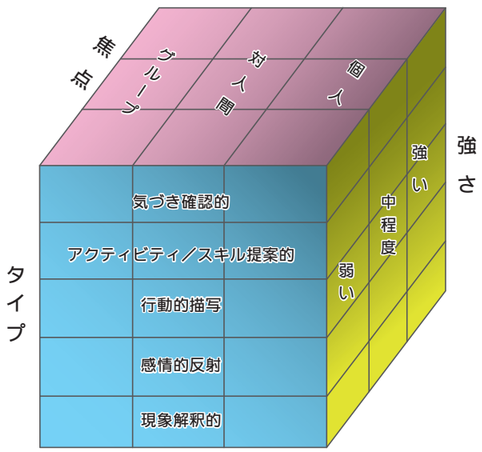
この講座では、チーム活動のメンバーとは異なるメンバー（外部者）として、チームに関わり、とりわけグループのプロセスに働きかけるファシリテーションを学ぶことを目指しています。

ねらいとしては、下記のようなことを考えています。

- ○ チームの中での人間関係（グループプロセス）を観る視点をもつとともに、実際に気づくことができる感受性を高める。とりわけ、タスクプロセスとメインテナンスプロセスの理解と働きかけに焦点を当てる。
- ○ チームや他のメンバーに与えている自分の影響に気づく。
- ○ チームやメンバーの成長に向けて働きかける視点やスキルを養う。



グループプロセスのダイナミックス氷山図
（W.B. レディと E. シャインを参考にして津村が作成）



介入の立方体
W.B. レディ（1994）より作図

※　W. Brendan Reddy 著「INTERVENTION SKILLS: Process Consultation for Small Groups and Teams」をテキストとして使用します。

※　本講座の参加に際して、JIEL 主催のＴグループやラボラトリー体験学習の基礎講座を修了されていることが望ましいと考えています。

2018年度 JIEL 第４回グループプロセスコンサルティング講座

＜日程例＞　　2018年11月23日～27日開催

	11月23日（金・祝）		11月24日（土）		11月25日（日）		11月26日（月）		11月27日（火）
9:30 10:00	受付 開会・導入 実習「わたしの窓」 小講義 「コンテントとプロセス」 私のねらい	7:00 9:00	朝食 GP:02	7:00 9:00	朝食 GP:05	7:00 9:00	朝食 GP:08	7:00 9:00 9:30	朝食 準備 プレゼンテーション 休憩 実習 「プロジェクトグループの深さ」
12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食
13:15 13:50 14:45 15:00 15:45 16:10	私のねらいの共有 小講義「GPCとは(1)」 実習「ブロックモデル」 休憩＆チェックイン ふりかえり・分かち合い インタビュー 小講義「GPCとは(2)」 実習「口頭の契約」 グループプロジェクトの説明 GPC&Obの順番ぎめ	13:00 14:45 15:00	実習「介入のタイプ」 GP:03	13:00 14:40 15:00	実習 「グループダイナミックスと介入の深さ」 GP:06	13:00 14:10 14:30 15:45 16:00	GP:09 GP:10 GP準備	13:00 16:00	プロジェクトグループのヒストリー（続き） グループメンバーへのフィードバック 実習「学びの拾い出し」 閉会
18:00	夕食	18:00	夕食	18:00	夕食	18:00	夕食		
19:15 21:45	GP:01 ジャーナル	19:00 22:00	GP:04 ジャーナル	19:00 22:00	GP:07 ジャーナル	19:00	GP準備つづき コミュニティーアワー ジャーナル		

第５回グループプロセス・コンサルテーション

日　程	2019 年 9 月 21 日（土）午前 10 時（プログラム開始）4 泊 5 日　夜もプログラムが予定されています。 2019 年 9 月 25 日（水）午後 4 時（プログラム終了）
担当者	津村　俊充
定　員	20 名
会　場	南山学園研修センター 〒 460-0934　名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩 6 分）　TEL052-837-6466
参加費	受講料：78,000 円（税込） 滞在費：48,000 円（税込）（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

参加者の声（アンケートより）

- グループがどのように成長していくのか、それに自分はどのように貢献できるのか考えることができた。
- コンサルタントとしての関わりと、メンバーとしての関わりについて、自分の選択肢が増えたし、プロセスの変化を感じることができた。
- 改めて日頃のファシリテーション場面をふりかえり、検討するためのデータを多く得られた。
- 前回のグループプロセス・ファシリテーター・トレーニングから引き続いていたことやその他の疑問や違和感が、スルスルとつながって、パズルのように見えたこともあり、よかった。
- 組織の中の支援者としてのスキルを磨くためのプログラムでした。
- メンバーからのフィードバックをもらうことで、プロセスを見ているようで見ていない自分に気づくことができた。

チーム診断コンサルテーション

本講座は、Tグループなどグループワークによる「ラボラトリー方式の体験学習」を学ばれた方が、さらに「ラボラトリー方式の体験学習」についての理解を深めると共に、チームや組織の変革のために実習といった活動により働きかける力を育成することをめざした講座です。

相互にチームに関するデータをインタビューやオブザーブなどにより収集し分析することによって相手チームの状況を把握します。その後、チームの状況を診断し、相手チームの成長の可能性を考え、そのための目標を設定して、適切な実習体験（構成的グループ体験とよびます）を提供します。その結果を、クライエントであるチームも、実施者も双方が評価し、さらなる成長のためのプログラムの可能性を考える講座です。

本講座では、教育プログラム（研修や授業）の実施に際し、一連のプログラム設計（デザイン）の基本的な考え方やすすめ方、またデザインされた実習プログラムの実施について、体験を通して学ぶことを目的としています。

講座の前半の２日間は、一連のチーム診断の流れについて理解した上で、相手チームのデータ収集と診断を行います。３日目に、相手チームの変化 / 成長のための目標を設定し、その実現に向けてのプログラムのデザインをします。４日目に、プログラムの相互実施を行い、プログラムのデザインと実施の仕方に関するフィードバックを行い、プログラムデザインに関する理解を深めます。最終日には、本講座の学びをもう一度整理し、現場に向けて、参加者一人ひとりの応用実践のための課題を考える予定です。

講座のねらいとしては、次のようなものがあげられます。

組織の開発・グループの発達・一人ひとりの成長をめざして

- ○ 体験学習や学習者参加型の教育に対する理解を深める
- ○ データを収集し、分析し、プログラム化する体験をする
- ○ 体験学習のプログラムをつくり、実施し、ファシリテーションする力を養う
- ○ 現場での体験学習の応用を考え、体験学習や学習者参加型の教育に対する理解を深める
- ○ 学習を共に楽しむ

第５回チーム診断コンサルテーション

日　程	2019 年 11 月 23 日（土）10:00 受付　10:30 開会　４泊５日 2019 年 11 月 27 日（水）16:00 閉会
担当者	津村　俊充　その他 (交渉中)
定　員	12 名
会　場	南山学園研修センター 〒 460-0934　名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩 6 分）TEL　052-837-6466
参加費	受講料：78,000 円（税込） 滞在費：48,000 円（税込）（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※本講座は、Tグループ（人間関係トレーニング）などに参加されていることをおすすめします。
※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

2018年度第4回チーム診断コンサルティング　日程表（案）

2019年3月1日～5日開催

3月1日（金）	3月2日（土）	3月3日（日）	3月4日（月）	3月5日（火）
	7:30 朝　食	7:30 朝　食	7:30 朝　食	7:30 朝　食
	9:00 グループ内チェックイン	9:00 グループ内チェックイン	9:00 プログラム実施準備	チェックアウト
	◎「データ収集」③ ≪グループプロセスを観る視点のポイント≫	9:30 ≪プログラムづくりのポイント≫ ◎「プログラムデザイン」① ・目標設定 ・プログラムづくり	9:30 ◎「プログラム実施」① ・プログラムの実施 C11	9:15 チェックイン ◎「スタッフチーム」③ ○持ち帰ってほしいフィードバック・プレゼント」 ・プレゼント交換
10:00 受　付	9:50			10:45 休　憩
10:30 開　会 ◎「ねらいづくり」 ○実習 ○小講義 「コンテントとプロセス」 「体験学習の循環過程」 ○グルーピング	10:00 ○実習「POPO」 ・Aチーム実施・Bチーム観察 C3-1	C7	11:00 ・フィードバック	11:00 ◎「個人でふりかえり」 ・個人作業 ・学びの拾い出し・整理 ・あらたなメンバーでシェア
12:00 昼　食	11:25 ○実習「POPO」 ・Bチーム実施・Aチーム観察 C3-2 12:00 昼　食	12:00 昼　食	12:00 昼　食	12:00 昼　食
13:00 ◎「チームづくり」① ○実習「名画鑑賞」 C1	13:00 ◎「追加データ収集」④ ≪インタビュー項目のヒントのポイント≫ ・インタビュー項目の検討 ・インタビューの実施	13:00 ◎「プログラムデザイン」②	13:00 プログラムの実施準備 13:10 ◎「プログラム実施」② ・プログラムの実施 C12	13:00 （つづき） ◎「学びの整理」 ・グループで模造紙にまとめる ・グループ発表 ○小講義 「デザインモデル」 ◎「現場に向けて」 ・シェア
14:15 休　憩	13:40		14:40 ・フィードバック	15:30 閉　会
14:30 ◎「データ収集」① ＜インタビュー＞ ≪真価の探求のポイント≫ ○「ハイポイントインタビュー」	◎「相手チームの分析」① ＜特徴と課題＞ ≪分析のポイント≫ C4	C8 休　憩	15:40 休　憩	16:00 解　散
16:00 休　憩	（つづき②）	◎「プログラムデザイン」③	16:00 「パートナーメンバーとの共有」	
16:15 ・ストーリーの共有とふりかえり	C5	C9	16:30 ◎「スタッフチーム」① ○ポストスタミ C13	
17:15 （自由時間）				
18:00 夕　食	18:00 夕　食	18:00 夕　食	18:00 夕　食	
19:00 ◎「データの収集」② ＜インストルメント＞ ≪TOBIの整理のポイント≫ TOBI〔チームの志向〕分析 C2	19:00 （準備） ◎「プレゼンテーション」 ≪プレゼンテーションのポイント≫ ○「相手チームの未来」 ・期待できること C6 「パートナーメンバーとの共有」	19:00 ◎「プログラムデザイン」④ C10	19:00 ◎「スタッフチーム」② ○ヒストリーを探る ・チェックリスト ○「4つの懸念をもとにふりかえる」	
19:30				
21:00	21:00	21:00	21:00 コミュニティアワー	C＝チェックポイント

参加者の声（アンケートより）

- 参加して出会ったメンバーの数と一緒に過ごした日数の分、たくさんの意味が見つけられた。
- プログラム作りにおいて、自分に意識として足りなかったものを見つけることができ、具体的に考えることができた。
- デザイン段階の知見を業務（組織開発）に活かせると感じた。
- 自己理解が深まるなど、持ち帰って使える「お宝」がある様々な経験ができました。
- これからのプログラムデザイン・ファシリテーターとしての活動に活用していきます。

AI アプローチ基礎講座～ 4D サイクルを体験し学ぶ～

Appreciative Inquiry(AI) とは、個人、グループ、組織といったシステムの中に現在もっている「生き生き輝くエネルギーを与える力 (Life-giving forces)(ポジティブ・コア）を見つけ出すことからはじめ、個人、グループ、組織の変革をめざすアプローチです。ポジティブ・コアを探求し、そのポジティブ・コアが最大化された未来 (夢) を描き、その実現に向けてメンバー相互に協働的なかかわりが生まれる、参加型のアプローチです。

この講座では、AI とはどのようなものかを体験を通して学ぶとともに、参加者みなさんが現場でどのように活かしていけるか探っていきたいと考えています。特に、できる限り、4 D サイクルを体験する生の現場に、講座の場がなることを願っています。そのために、学びが持続する学習共同体（ラーニングコミュニティ）を創りたいという意思のある方にお集まりいただきたいと思っています。合宿研修で行いますので、参加者同士の交流も深まる得がたい機会になるでしょう。

また、これまでの本講座に参加されたみなさまは、その後も AI アプローチ実践研究会として学びの場を継続しています。

おおまかなプログラムの流れ

一日目	
9:30	受　付
10:00	開会　導入：　研修のねらいの確認・生活の案内 「OD（組織開発）とは」「AI アプローチとは」
12:00	DISCOVERY(1)　ハイポイントインタビュー
	昼　食
13:00	DISCOVERY(2)　ストーリーの共有 DISCOVERY(3)　私たちのポジティブコアの探求
18:00	夕　食
19:00	
21:00	交流会

二日目		
9:00	DREAM(1)	最高の未来像のインタビュー
	DREAM(2)	コミュニティの未来を表現
12:00	DREAM(3)	プレゼン＆全体で共有
	昼　食	
13:00	DESIGN(1)	エレメントの探究
	DESIGN(2)	喚起的声明文の作成
	DESTINY	声明文を創ったグループでプロジェクトを考える
	全体のふりかえり	
17:00	閉　会	

※本講座の参加に際して、JIEL の T グループ（人間関係トレーニング）を修了されている方におすすめします。

参考テキストを挙げておきます。

※ポジティブ・チェンジ　主体性と組織力を高める AI
ダイアナ・ホイットニー＆アマンダ・トロステンブルーム (著)　　高間邦男 (監訳) ヒューマンバリュー (2006)
※ AI「最高の瞬間」を引き出す組織開発　未来志向の " 問いかけ " が会社を救う
デビッド・L・クーパーライダー＆ダイアナ・ウィットニー (著) 本間正人 (監訳)PHP 研究所 (2006)

第 7 回 AI アプローチ基礎講座

日　程	2020 年 1 月 25 日（土）9:30 受付　10:00 開始　1 泊 2 日 2020 年 1 月 26 日（日）17:00 終了
担当者	津村　俊充・大塚　弥生
定　員	24 名
会　場	南山学園研修センター 〒 460-0934　名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩 6 分）　TEL052-837-6466
参加費	受講料：32,400 円（税込） 滞在費：10,000 円（税込）（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループワーク体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少変更があるかもしれません。

参加者の声（アンケートより）

- AI の一連の体験・体感ができ、新しい出会い、つながりができた。
- AI の構造や進め方というより本当の部分がわかった気がします。
- AI の知識、体験のみならず、たくさんの人の価値観や思いに触れられた。
- 勉強したというより、人生経験を高めることができたという感じ。

AI アプローチ応用講座　～アプリシエイティブ・リーダーシップを学ぶ～

本講座は JIEL 主催の AI アプローチ基礎講座に参加された方を対象にしたアドバンス講座です。

津村が 2016 年より「AI アプローチ」をベースに、リーダーシップ研修を東京女子医科大学の看護師対象に、3 泊 4 日で実施しているプログラムをベースにアプリシエイティブ・リーダーシップについて紹介しながら、アプリシエイティブ・リーダーシップ養成のプログラムを体験していただきます。

おおまかなプログラムの流れ

1. 導入：プログラムの概略の説明→グループ分け
2. グループ内のメンバー相互に「ハイポイントインタビュー」→ ポジティブコアの共有
3. グループでポジティブコアの探求
4. POPO：他チームの活動の観察＆インタビュー
5. 他チームの可能性の探究 → プレゼンテーション
6. 組織実習「グリーティングカード」
7. 自分の課題（問題）の価値の反転→活動の宣言

ご参加に際し、ご自身の現場でのリーダーとしての課題や問題をもってきていただくことをお願いします。
参考テキストは、下記の書籍です。前もってお読みいただくことも、学びを促進することになると思います。

※なぜ、あのリーダーの職場は明るいのか ?―ポジティブ・パワーを引き出す 5 つの思考法 単行本（ソフトカバー）
ダイアナ・ホイットニー (著), アマンダ・トロステン = ブルーム (著) 日本経済新聞出版社

第 4 回 AI アプローチアドバンス講座

日　程	2020 年 3 月 14 日（土）10:00 受付　10:30 開始　2 泊 3 日 2020 年 3 月 16 日（月）17:00 終了
担当者	津村　俊充・大塚　弥生
定　員	16 名
会　場	南山学園研修センター 〒 460-0934　名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩 6 分）　TEL052-837-6466
参加費	受講料：43,200 円（税込） 滞在費：20,000 円（税込）（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループワーク体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少変更があるかもしれません。

参加者の声（アンケートより）

- AI の講座も良かったが、アプリシエイティブリーダーを育てていく方が組織を変えていくのには効果的だと思った。
- 言葉が未来を創ることをあらためて確認できた。
- ペアインタビューからはじまって POPO、チーム診断、新しい実習「グリーティングカード」と盛りだくさんの内容の１つ１つに今の自分を「ふりかえる」ことができて、意味があった。
- AI の課題、自分の傾向など、起きていることに実際に向き合えた。
- アプリシエイティブ・リーダーシップ講座の仕組み、鍵になるポイント、難しいパートがわかった。

共感でつながるアサーション～感情とニーズに寄り添う自己表現～

この講座ではアサーション（自己表現）の方法として、マーシャル・B・ローゼンバーグ博士による NVC（Nonviolent Communication）の考え方を学び、グループでの演習を通じて自分や他者の感情に注目し、その背景にあるお互いが必要とするもの（ニーズ）を尊重しあえるような問いかけや応答、語りを試みます。
感情に寄り添い、必要としていること（ニーズ）に気づいたときに人はつながりを実感できます。自分とつながり、他者ともつながるための表現を体験から学び合いましょう。

２日間を通じて、感情に向き合い、自分自身と対話したり、他者のニーズを推測して確認したりすることから、その人が感じていること、必要としていることを共に感じよう、知ろうとする共感的な働きかけを体験できます。

このようなつながりを生み出す働きかけの媒介になるのは、主に言葉であり､言語表現を通じて自分や他者の捉え方が次第にクリアになっていきます。

このようなことを目指している方にお薦めします

- ＮＶＣを学びたい人
- 「感情」の動きに関心のある人
- 攻撃的なコミュニケーション、反射的なコミュニケーションを回避したい人
- 言葉の背景にある真意を表現したい人
- 共感的に理解しあえる人間関係を築きたい人など

第３回 共感でつながるアサーション

日　程	2019 年 12 月 14 日（土）午前 10 時開始 2019 年 12 月 15 日（日）午前 10 時開始 両日とも午後 6 時終了
担当者	水野節子、國武　恵
定　員	12 名
会　場	ヒューマンコラボレーションセンターＨＣＣ 名古屋市天白区原一丁目 2304　ライオンズマンション原 102　HCC　TEL/FAX　052-804-1889
参加費	21,600 円（税込）両日参加して頂く必要があります

参加者の声（アンケートより）

- NVC を知れて、人をさらに好きになれそうだと思いました。コミュニケーションは難しいけれど、貴いものだなあと新しい肝ができました。
- 感情、行動の奥深いところには、何があるのか、モヤモヤとしていたので、それがニーズというものであることがわり、すっきりした。
- 自分の心の中を自分で見ることができた気がする。相手に心から共感することができた。
- 自分の気持ちに気づきにくいことが悩みで、もどかしく、自分に正直でないと感じていましたが、自分との向き合い方を学んだことで、これからは気づいていけそうです。

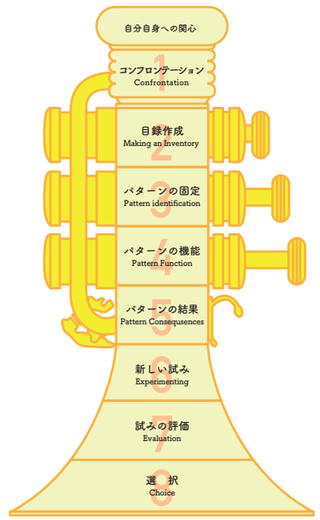
セルフサイエンス～自己のための教育～

セルフサイエンスは、ヒューマニスティック・サイコロジカル・エデュケーションの一つの実践です。本講座では、米国マサチューセッツ大学において J．ウェインシュタイン教授らが体験学習のステップとして考案したトランペットセオリーにもとづいて開発した教育実践プログラムを紹介します。
セルフサイエンスの一つの目的は、自分自身の内的・外的な反応（感情・思考・行動）を学習者が内省・観察し、自分の対人行動パターンを見つけ出すことです。そして、その行動パターンを吟味することを通して新しい対人行動のレパートリーを広げていこうとすることがもう一つの目的です。
そのために、この講座では次のようなプログラムを体験し学んでもらいます。

１回目の講座では、「セルフサイエンス」コースの導入の小講義から始まり、トランペットモデルの紹介に引きつづき、自分の体験を語ることを学びます。
２回目の講座では、「TA(トランザクショナル・アナリシス：交流分析)」の自我状態の小講義から、自分の中にある「親の自我状態」「成人の自我状態」「こどもの自我状態」を理解します。ホームワークとして、「自分の行動パターン」を見つけて、特定のフォーマットに書き出してくることが課題になります。
３回目の講座では、持ってきた自分の行動パターンを明確にし、そのパターンの機能を探求します。そして、そのパターンがもっているクラッシャーを同定し、そのクラッシャーと相反対する再方向付けをかんがえ行動のプランを立てます。
フォローアップミーティングでは、参加者一人ひとりが考えた行動計画の実践評価を行います。

このようなことを目指している方にお薦めします

- 日常の生活で自分がどのように人とかかわっているかを探求してみたい人
- 日常生活での人とのかかわり方を見直したい人
- いつもやってしまうと思う行動パターンから抜け出したい人
- 体験学習の「指摘」「分析」「仮説化」を､とりわけ「分析」のステップをもう少しクリアーにしたい人
- 自分と真剣に対峙してみたい人など



※参考テキストとして、「プロセス・エデュケーション～学びを促進するファシリテーションの理論と実際～」第５章「自己成長のセルフサイエンス」津村俊充著（金子書房）をおすすめします。

第１回セルフサイエンス

日　程	1 回：2019 年 6 月 29 日（土）10:00 ～ 17:00 2 回：2019 年 6 月 30 日（日）10:00 ～ 17:00　　※いずれの回も、通いの講座です。 3 回：2019 年 7 月 14 日（日）10:00 ～ 17:00 ※フォローアップミーティング： 2019 年 10 月 19 日 (土)13:00 ～ 16:00
担当者	津村　俊充
定　員	12 名
会　場	ヒューマンコラボレーションセンターＨＣＣ 名古屋市天白区原一丁目 2304　ライオンズマンション原 102　HCC　TEL/FAX　052-804-1889
参加費	43,200 円（税込）

インタープリター・トレーニング ～環境教育実践から SDGs 実現をめざす～

インタープリターとは、自然や文化など目に見えるモノを通して、目に見えないもの（自然界や歴史、価値や態度など）を伝える（もしくは学んでもらう）人を指しています。自然と人、人と人とをつなぐ仕事と言われます。環境教育は、人間を取り巻く自然環境、人為的な環境と人間との関係を取り上げながら、未来に渡り全地球の人々が幸せな生活を営むことができるように私たち人間がどのようなかかわりをするとよいのかを理解し、行動できるように学んでいくことを目指しています。

環境教育は、自然環境に焦点を当てた自然系、一方公害やエネルギー問題にかかわる生活系、また国際理解教育や多文化・異文化共生にかかわる地球系と呼ばれるような領域が、今日では深くつながりをもちながら実践されてきています。

2015 年 9 月には、「持続可能な開発目標 (SDGs)」が国連で採択されました。すべての国連加盟国が、経済・社会・環境の側面を包括的に推し進めながら、2030 年までに目指すべき到達点として生まれた「世界レベルの社会的契約」ともいえます。もちろん、日本も加盟国です。

SDGs は、17 個の目標（図参照）にまとめられ、各目標の下には 169 の「ターゲット」が掲げられています。

JIEL では、2017 年より ESD スペシャリスト育成プロジェクトとして、こうした社会問題に立ち向かう、とりわけ ESD（Education for Sustainable Development）の実践者（Change Agent）の育成に取り組んできました。そのプログラム中で、キープ協会の支援を受けて 1 泊 2 日のプログラムでインタープリター・トレーニングを実施してきています。2019 年度から、これまでのプログラムの発展的展開として、キープ協会と共催という形で 2 泊 3 日のインタープリター・トレーニングを開催することになりました。

本講座では、清里の自然をふれあう体験を通して、環境教育のめざす理念や目的を理解すると共に、環境教育の実践者（インタープリター）体験を通して、学びの場を創る担い手になるトレーニングを目指しています。学びの場づくりには、ラボラトリー体験学習の理論と実践は欠かせません。清里の自然とキープの美味しい地産地消のお料理を楽しみながら、インタープリターとラボラトリー体験学習を学ぶ講座にお越しください。

※テキストは「インタープリター・トレーニング～自然・文化・人をつなぐインタープリテーションへのアプローチ」津村・増田・古瀬・小林編 (ナカニシヤ出版) を使用します。

第 3 回インタープリター・トレーニング

日　程	2019 年 8 月 24 日 (土)　13:00 受付　13:30 開会　2 泊 3 日 2019 年 8 月 26 日 (月)　14:00 終了予定
担当者	津村　俊充・鳥屋尾　健（KEEP 協会環境事業部長）
定　員	16 名
会　場	(財)KEEP 協会　ハリスホール 〒 407-0311　山梨県北杜市高根町清里 3545　宿泊はコテージを利用 (男女別棟)
参加費	受講料：21,600 円 (税込) 滞在費：17,000 円 (税込)(予定)（宿泊費、食費、会場費を含む）

※宿泊型のプログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループワーク体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少変更があるかもしれません。

※本講座は、キープ協会環境教育事業部とのコラボレーション企画です。
同様の講座は、キープ協会環境教育事業部主催 JIEL 共催にて「第 70 回インタプリターズ・キャンプ」が 2020 年 1 月 11 日 (土) ～ 13 日 (月・祝) で開催されます。

未来を創る人の「輪」プロジェクト
～実践者と参加者が混ざり合う対話の場～

JIEL は 2017 年度より ESD、SDG s 達成をテーマに社会課題ととりくむ「人」の育成や実践者同士のつながりをつくり、それぞれの活動を応援し合うコミュニティづくりを支援してきました。

本年度よりそうした活動を応援し合い、学び合い、ともに課題を乗り越えてそれぞれが目指す未来に向かうコミュニティを創る『未来を創る人の「輪」プロジェクト』を開始します。

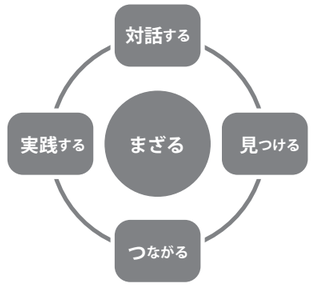
本プロジェクトが目指す未来

- 一人ひとりの「今」が大切にされている
- 共に目指す未来を探求する対話が行われている
- 人と人の共創・協奏が生まれている

2019 年度 開催

第 1 期　対話を通して「今」からはじめる未来づくり

第 1 期はプロジェクト第一弾として、「未来を創る人（実践者）」や「課題の中に生きる人」をお招きし、参加者と共とそれぞれが向き合っている「今」について対話する場を作ります。



対話の場では、活動している人のリアルな体験から社会課題の現状を知り、自分自身の、学び合う仲間同士の未来の可能性を探求し、見つけ出していきます。

未来づくりの実践者・当事者から受け取るのみでなく、そこにいる人同士が、つながり、まじりあうことで互いの実践への相乗効果が起こることを期待します。

第 1 期イメージ

実践者と参加者が混ざり合う対話の場

実践者の具体的な活動や思いを知る
活動の動機や経緯、背景にある思いを共有する

それぞれの「今」を語る
今感じている現場のリアルを共有する

これからを考える
対話を通じて「今」、私たちは何ができるかを考える

仲間づくり
分野の壁を越えた出会いによる共創・協奏の可能性の探求

詳細は WEB サイトで公開します！ http://www.jiel.jp

ラーニングカフェ FOR CHANGE

日本体験学習研究所（JIEL）では、実験的・冒険的試みとして、地域の人々に対話の場を提供し、参加者のみなさまが今考えている関心事や問題を自由に話し合いながら、どのようなことがそれらの関心事に潜んでいるのかを共有し、共通の理解が生まれる場を創っています。

古くは、1950 年頃より、R. リピットをはじめ多くのラボラトリー体験学習の創設者である研究者が実施してきています。

2019 年度のラーニングカフェ FOR CHANGE の開催予定日（各回とも 19:00 ～ 21:30）

第 47 回	2019 年	4 月 12 日（金）	第 51 回	9 月 11 日（水）	第 55 回	2020 年	1 月 22 日（水）
第 48 回		5 月 15 日（水）	第 52 回	10 月 18 日（金）	第 56 回		2 月 14 日（金）
第 49 回		6 月 14 日（金）	第 53 回	11 月 20 日（水）	第 57 回		3 月 18 日（水）
第 50 回		7 月 17 日（水）	第 54 回	12 月 13 日（金）			

会　場	ヒューマンコラボレーションセンターＨＣＣ 名古屋市天白区原一丁目 2304　ライオンズマンション原 102　HCC　TEL/FAX　052-804-1889
参加費	1,000 円（税込）（茶菓代＆１ドリンク付き）　※参加費は当日会場でお支払いください

体験学習実践研究会

この研究会は、さまざまな領域で人とかかわる力の育成や人間関係づくりに関心をもつ人々が集まり、『体験学習』のための実習教材の体験をしたり、研修教材開発やプログラムの設計・展開に関する討論を行っています。コーヒーやお菓子などもつまみながら、自由な雰囲気で学び合う場です。

※どなたでもご参加いただけます。　※資料等はその都度提供されます。

2019 年度の体験学習実践研究会の開催予定日（各回とも 13:30 ～ 16:30 ／ 12 月 1 日のみ 13:30 ～ 17:30）

第 27 回	2019 年	5 月 18 日（土）
第 28 回		6 月 15 日（土）
第 29 回		7 月 13 日（土）
第 30 回		9 月 7 日（土）
第 31 回		10 月 5 日（土）
第 32 回		12 月 1 日（日）
第 33 回	2020 年	2 月 15 日（土）

参加資格	人間関係力の育成や人間関係づくりに関心をおもちの方、特に「体験」を通して学びの場を創ることに関心をおもちの方ならどなたでも参加できます。(不明な場合は、お問い合わせください)
会　場	ヒューマンコラボレーションセンターＨＣＣ 名古屋市天白区原一丁目 2304　ライオンズマンション原 102　HCC　TEL/FAX　052-804-1889
参加費	1,000 円（税込）　※参加費は当日会場でお支払いください

AI アプローチ実践研究会

JIEL 主催の AI アプローチ基礎講座に参加されたメンバー（AI プラクショナー）が隔月で集まり、自身の実践の報告や現在進行形のチームや組織の活性化に向けた働きかけなどを巡って、自由に話し合う研究会です。

12 時頃に集まり、まずは、中華の出前を頼み、飲み物を片手に食事を楽しみながら、チェックイン的近況報告。その後、今の関心事をアジェンダに出して、午後 4 時頃まで、自由気ままな対話の時間を過ごしています。いつもたくさんのあふれんばかりの刺激的な話を語り合いながら充実の時間を過ごしています。

是非、JIEL 主催の AI 基礎講座にご参加いただき、AI 実践研究会の仲間になってください。

2019 年度の AI アプローチ実践研究会の開催予定日（各回とも 12:00 ～ 16:00）

第 20 回	2019 年	3 月 24 日（日）
第 21 回		5 月 19 日（日）
第 22 回		7 月 21 日（日）
第 23 回		10 月 6 日（日）
第 24 回	2020 年	3 月 21 日（日）

会　場	ヒューマンコラボレーションセンターＨＣＣ 名古屋市天白区原一丁目 2304　ライオンズマンション原 102 HCC　TEL/FAX　052-804-1889
参加費	1000 円（税込）＋その他昼食代金 (中華出前）要 ※参加費は当日会場でお支払いください

受託研修（コンサルテーション）

日本体験学習研究所（JIEL）では、学校教育現場、企業など組織内研修、看護医療現場での医療従事者の研修など幅広いジャンルの現場から研修依頼をいただき、各機関のご要望にお応えしています。これまでコミュニケーション、グループワーク、チームづくり、組織開発など人間関係から生み出されるグループダイナミックスを活かす研修を提供し、ご好評をいただいています。さまざまな機関のご要望を聞き取り、ニーズにあったオリジナルのプログラムのデザイン・実施から、それぞれの機関の変革のためのコンサルテーションまでご相談・ご依頼をお引き受けしています。

研修・ご相談についてのご質問、ご依頼は、まずはお気軽に JIEL 公式サイトよりお問い合わせください。

JIEL
公式サイト
http://www.jiel.jp

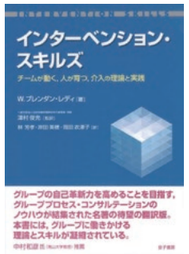
2018 年度研修（コンサルテーション）実績（順不同）

依頼機関	受託研修プログラムタイトル
全千葉県私立幼稚園連合会	後継者育成研修会～チーム力アップ！　ともに尊重し合い育ち合う関係づくり
名古屋市教育委員会	平成 30 年度名古屋市女性学習活動研究委託事業リーダー研修会「学びのつどい」
一宮市立西成小学校	現職教員研修　いじめ防止のピアサポート学習①「児童への望ましい声かけとは？」
名古屋市中川生涯学習センター	＜女性セミナー＞大切にしたい、わたしの思い 「わたしも、あなたも大切にするコミュニケーション～アサーティブにいこう！～」
名古屋市立梅森坂小学校	家庭教育セミナー「幸せ親子のコミュニケーション講座」
名古屋市立大江中学校	家庭教育セミナー「思春期の子どもに伝えたい～ I メッセージで親の思いを～」
一般社団法人日本産業カウンセラー協会 東関東支部	産業カウンセラー養成講座「コミュニケーションの理論と実践」
名古屋市西生涯学習センター	＜親学関連講座＞　思春期の子どもと向き合いたい～子どものココロをつかむコミュニケーション～
名古屋市立楠中学校	家庭教育セミナー「私もあなたも大切にするコミュニケーション」
名古屋市立八事東小学校	家庭教育セミナー「伝わる、つながるコミュニケーション」
愛知県社会福祉協議会	平成 30 年度　社会福祉事業者による苦情解決制度受付担当者研修会「ピンチはチャンス！クレーム対応研修」
社会福祉法人昭徳会	職員研修「クレーム対応のポイント」
社会福祉法人昭徳会　（日本福祉大学）	職員研修「コミュニケーションの基本」（報告・連絡・相談について）
社会福祉法人さわらび会　（日本福祉大学）	職員研修「コミュニケーションの基本」（効果的なコミュニケーションの５つ要素）
京都市西京区地区別勉強会	人権研修「人を大切にし、自分を大切にするフィードバック」
生涯学習ネットワーク中部	生涯学習相談員ボランティア養成講座「聴くこと」
生涯学習ネットワーク中部	生涯学習相談員ボランティア養成講座「コミュニケーションとは？～価値観について～」
名古屋医療センター	中堅看護師対象「リーダーシップ研修」
国立病院機構東海北陸グループ	中間管理者研修（Ⅱ）「リーダーシップ」
国立長寿医療研究センター	ラダーレベルⅡ「リーダーシップ」
社会福祉法人　よつ葉の会	「コミュニケーション」
名古屋市生徒指導研究会研修会	人間関係づくり「共に成長しあえる社会を創り上げるために」
名古屋大学医学部附属病院	「看護チームのリーダーシップ研修」
名古屋市消防局消防学校	昇進課程「リーダーシップ研修」
小牧市教員組合力量向上学習会	学習会「よりよい人間関係づくりのために」
名古屋市消防学校	昇進第 1 課程「リーダーシップ研修」
社会医療法人　大雄会	指導者研修「指導者として看護実践に活かすコミュニケーション」
社会医療法人　大雄会	指導者研修「指導者として看護実践に活かすファシリテーション」
医療法人社団　喜峰会　東海記念病院	院内管理者研修「部下育成に必要なコミュニケーションスキル研修～人間関係トレーニング～」
東京女子医科大学　東医療センター	ステップ３研修（コミュニケーション研修）
東京女子医科大学病院	リーダーシップⅡ研修
一宮市教育委員会	第 2 回「いじめ等対策主任者会～アサーティブに表現するために」
依頼機関	**研修プログラム監修・コンサルテーション**
株式会社 NTT データユニバーシティ	課長～部長層のヒューマンスキル研修
国土交通省大阪航空局中部空港事務所	航空管制官のためのチーム力向上研修～コーチング～

ラボラトリー方式の体験学習の理解のために、また実際にラボラトリー方式の体験学習を用いたプログラムを設計して実施するために必要な知識を身につけるためにお勧めする書籍をご案内します。
書籍・機関誌をお求めになる場合は WEB サイトの「お問い合わせ・資料請求フォーム」よりご連絡ください。
一般書籍は書店および、Amazon をはじめとしたネットショップでご購入いただけます。

■一般書籍

インターベンション・スキルズ：チームが動く、人が育つ、介入の理論と実践



W. ブレンダン・レディ 著
津村　俊充 監訳／林　芳孝 訳／岸田　美穂 訳／岡田　衣津子 訳
金子書房
B5 判 200 ページ
定価 本体 2,800 円＋税
2018 年 9 月 10 日

インタープリター・トレーニング　自然・文化・人をつなぐインタープリテーションへのアプローチ

津村俊充・増田直広・古瀬浩史・小林毅 編
ナカニシヤ出版
B5 判 198 ページ
定価 本体 2,500 円＋税
2014 年 12 月 10 日

実践 人間関係づくりファシリテーション

監修　津村俊充　星野欣生 編
金子書房
B5 判 192 ページ
定価 本体 2,300 円＋税
2013 年 12 月 27 日発行

プロセス・エデュケーション 学びを支援するファシリテーションの理論と実際

津村俊充著
金子書房
B5 判 242 ページ
定価 本体 2,800 円＋税
2012 年 10 月 31 日発行

人間関係トレーニング (第 2 版) 私を育てる教育への人間学的アプローチ

津村　俊充・山口　真人 編
ナカニシヤ出版
B5 判 206 ページ
本体 2,200 円＋税
2005 年 4 月 1 日発行

ファシリテーター・レーニング (第 2 版) 自己実現を促す教育ファシリテーションへのアプローチ

南山大学人文学部心理人間学科
津村　俊充・石田　裕久 編
ナカニシヤ出版
B5 判 205 ページ
本体 2,200 円＋税
2010 年 10 月 2 日発行

■機関誌「体験学習実践研究」

JIEL が発行元となって毎年 1 巻発刊。JIEL ホームページにて、創刊号から近刊号までの目次などをご覧いただけます。
なお、広くオリジナル実習の紹介記事や体験学習の実践報告記事などを募集しています。
小誌に投稿を希望される方は、お問い合わせフォームよりご連絡ください。各巻 500 円／冊（税込・送料別）で頒布いたしていますので、ご希望の方は、WEB サイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

DVD「つんつんのミニレクチャー 32 講」

ラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方をお伝えする動画を作成しました。体験だけの学習に終わらないために、体験後の内省と気づきの概念化が大切です。その手助けになるのが、認知地図 (cognitive map) です。体験学習参加者の皆様に、ホットな体験とクールな概念をこの動画を通してつなげていただけると幸いです。

つんつんのミニレクチャー　全 4 巻

企画・著作・出演	津村　俊充（JIEL 代表理事・所長）
撮影・制作	津村　勇一郎（ツムラオフィス）
定　　価	全 4 巻セット　下記価格表参照
発　　行	2017 年 1 月 1 日

ラボラトリー方式の体験学習に関わる基本的な考え方を、4 つのジャンル『ラボラトリー教育基礎編』、『コミュニケーションとグループ編』、『ファシリテーター編』、『T グループ編』に分け、計 32 本の動画にまとめました。
ラボラトリー方式の体験学習を用いた「人間関係づくりファシリテーション」の実践を行われている方、さまざまな領域の教育や組織開発に関わる方は必携です。

第 1 巻　ラボラトリー教育基礎編
「人間関係づくりファシリテーション：人間関係とは」
「ラボラトリー方式の体験学習とは」
「ラボラトリー体験学習から学ぶために」
「関係を観る視点：コンテントとプロセス (個人レベル)」
「ジョハリの窓（The Johari Window）に学ぶ」
「フィードバックを受け与える」
「グループの意思決定のスタイル：コンセンサス」
「社会的相互作用の循環過程」

第 2 巻　コミュニケーションとグループ編
「コミュニケーションのプロセスモデル」
「コミュニケーションの障害要因は」
「コミュニケーションの働きと聴くこと」
「グループの中で何を観るか」
「グループの発達：ギブの懸念モデル」
「グループの発達：シュッツの理論」
「グループの発達：タックマンモデル」
「K. レヴィンの変化モデル：ギブの懸念を活用する」
「リーダーシップ研究の流れ」

第 3 巻　ファシリテーター編
「体験学習のふりかえりとファシリテーターの働き」
「コルブモデルの体験学習のステップと期待される効果」
「体験学習のステップを多面的に考える」
「実習教材を用いたファシリテーションガイドライン」
「２つのプロセスに働きかけるファシリテーター」
「E. シャインの ORJI モデル」
「W.B. レディのプロセスコンサルタントの働けかけ」
「教育者養成に向けての視点とアプローチ」

第 4 巻　T グループ編
「T グループの誕生と日本における変遷」
「T グループの変化：誕生から今日」
「T グループと対話型ＯＤ」
「K. レヴィンの人間観」
「T グループとＢＥＧとの比較」
「エントリーとリエントリー」
「グループワークがもたらす効果」

「つんつんのミニレクチャー」ＤＶＤ全４巻　販売価格（すべて他に消費税がかかります）

個人の学習のために利用	JIEL 主催研修に参加	個人支払い（領収書個人名）	16,000 円
		法人・企業支払い（領収書法人名）	32,000 円
	JIEL 主催研修未参加	個人支払い（領収書個人名）	32,000 円
		法人・企業支払い（領収書法人名）	64,000 円
研修時に再生利用	JIEL 主催研修会参加にかかわらず	個人・法人・企業にかかわらず	640,000 円

※ 複製および営利目的での動画のご使用はかたくお断りします。
※ JIEL 主催研修にご参加いただいた方に限らせていただきます。

スタッフ紹介

■ 代表理事・所長

津村　俊充（南山大学名誉教授）

さまざまな教育現場や組織開発への体験学習の導入・普及に関心をもつ。マサチューセッツ大学教育学大学院にてセルフサイエンスを学ぶ。同時にＮＴＬにてラボラトリー方式の体験学習のトレーナートレーニングを受ける。ＮＴＬ主催の Appreciative Inquiry Approach による「Designing Experiential-Based Learning」のプログラムなどに参加し、対話型組織開発に関心をもつ。2011 年に、日本人では初めて NTL Institute メンバーとなる。

■ 名誉研究員

星野　欣生（南山短期大学名誉教授）

家庭裁判所調査官、ビジネスコンサルタントを経て、現在、南山短期大学名誉教授。米国 SIT(School for International Training) にて体験学習の教授・学習過程を研究。NTL でラボラトリーメソッドによる体験学習の基礎と実践応用を学ぶとともに、トレーナートレーニングを受ける。生涯学習、組織開発、とりわけ組織内教育や組織内教育のトレーナー養成を専門とする。

■ 研究員（アルファベット順）

後藤　雅子

健康に暮らすための関わりから、その人らしく日々を過ごすために、ともに考え、ともに学び続けている。協同教育の理念を用いた健康教育をとおして、その人らしくあることと健康とを結びつける活動を行っている。

林　芳孝

人はいかにしたら幸福になれるか、どうしたら生きがいを得られるか、人生を意味あるものとして終えていけるか。ポジティブ心理学や幸福学を中心に心理学の視点から探究し、得た知見をベースに、体験学習によるファシリテーション実施、プログラム開発を行っています。

今岡　まゆみ

ハラスメント予防のための「自他尊重の自己表現＝アサーション」を専門に活動し、地域、職場、家庭、友人と、様々な人間関係の中で、自分らしく生きるために、どのようにアサーションが活用できるかを探求している。

垣内　芳文

中小企業診断士として経営支援の現場でイキイキした組織づくりとビジネス的な成果の両面を支援。近年では働き方改革の現場支援やリーダー研修においても AI の要素を導入し、企業に活力と成果をもたらす職場づくりをクライアント様とともに探求している。

岸田　美穂

人との出会いから豊かな気づきや学びが生まれる。グループの活動を通して、メンバーの意識や行動が変化し、グループ自体も成長していく。一人ひとりのもちあじをいかしあう、チームや組織づくりを探求し続けている。

國武　恵

教員の経験を生かし、子どもたち自身の関係づくりに役立つ実習の開発やファシリテーションの研修を中心に活動している。他者とより豊かに関わりながら自分らしく生きることを支援していきたい。また、自分もそうありたいと考えている。

水野　節子

自他尊重のコミュニケーションの方法であるアサーションやアサーティブであるために役立つ NVC の研究と実践に取り組む。対人援助、リーダーシップ、クレーム対応、いじめ防止など幅広い研修にこれらを応用している。

岡田衣津子

さまざまな社会的な課題を住民自身が発見し、解決する「住民主体のコミュニティづくり」に関心をもつ。地域コミュニティ活性化、多文化共生のための対話・交流の場をコミュニティの中に醸成し、住民一人ひとりのエンパワメントの向上を目指した支援を行っている。

鈴木　由子

看護師の経験を生かして、医療・福祉の現場で、教育、人材育成に AI(Appreciative Inquiry) アプローチの視点を持って活動しその普及も目指している。また、いかに自分の感情やニーズを理解した上で、自分らしくコミュニケーションを行うかについて学び続けている。

JIEL ヤングフェローズ制度

日本体験学習研究所（JIEL）では、ラボラトリー方式の体験学習の実践研究を担う次世代のファシリテーターの養成を目的としたヤングフェローズ制度を設けています。要件として、30 代までの方で、JIEL 主催もしくは他団体の 5 泊 6 日の T グループに参加された方としています。2018 年度は、5 名のヤングフェローズが所属していました。

受講申込

[1]　受講申込

お申込方法

基本的には WEB ページから申込みをお願いします。
※ WEB ページが難しい場合には、FAX（052-804-1889）にてお申込みください。

JIEL
公式サイト
http://www.jiel.jp

お申込後の講座参加者の変更

公平を期すために、個人名での申込のみとさせていただきます。
団体名での申込及び申込後の参加者の変更はお断りしています。

[2]　受講料の振込

①原則 E-mail にて振込依頼を送付いたします。記載されている受講料を指定の銀行口座へお振込ください。
②期日内にご入金が確認できない場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

＜振込先＞

三菱 UFJ 銀行　平針支店（店番 095）
（普通）口座番号　0159782
名義「一般社団法人日本体験学習研究所　代表理事　津村俊充」

もしくは

郵便局普通口座
記号（１２１８０）　番号（２６７５７３０１）
名義：シヤ）ニホンタイケンガクシュウケンキュウジョ

[3]　受講案内

受講料の入金確認後、原則 E-mail にて受講案内等をお送りします。振込後、1 週間以内に届かない場合はご連絡をください。

[4]　開講日

①各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場は異なります。お間違いのないよう充分にご確認ください。
②テキストの必要な講座は、初日に受付にて販売いたします。

[5]　キャンセル連絡とキャンセル料について

	受講料入金後の場合	受講料の 20%（各講座上限 1 万円）＋振込手数料
当研究所受付日が	講座開始 10 日前～ 3 日前の場合	受講料の 50% ＋振込手数料
	講座開始 2 日前～当日の場合	受講料の全額（返金なし）

注 1：受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡をください。当研究所事務受付時間外に E-mail、またはファックスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。
注 2：宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応をいたします。

[6]　講座の中止について

申込者が規定の人数に満たない場合、天候や自然災害、交通事情などの影響のある場合、担当講師の避けられない事情が発生した場合、開講を中止することがあります。
当研究所の理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

年間スケジュール

2019年4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			2020年1月			2月			3月		
1	月		1	水	天皇の即位の日	1	土	第11回Tグループ（清里）	1	月		1	木		1	日		1	火		1	金		1	日	第32回体験学習実践研究会(HCC)	1	水	元日	1	土	第18回ラボラトリー基礎講座（福岡）	1	日	
2	火		2	木	国民の休日	2	日	第11回Tグループ（清里）	2	火		2	金		2	月		2	水		2	土	JIEL第3回L.E.カンファレンス（名古屋）	2	月		2	木		2	日	第18回ラボラトリー基礎講座（福岡）	2	月	
3	水		3	金	憲法記念日	3	月	第11回Tグループ（清里）	3	水		3	土		3	火		3	木		3	日	文化の日 JIEL第3回L.E.カンファレンス（名古屋）	3	火		3	金		3	月		3	火	
4	木		4	土	みどりの日	4	火	第11回Tグループ（清里）	4	木		4	日		4	水		4	金		4	月	振替休日 JIEL第3回L.E.カンファレンス（名古屋）	4	水		4	土		4	火		4	水	
5	金		5	日	こどもの日	5	水	第11回Tグループ（清里）	5	金		5	月		5	木		5	土	第31回体験学習実践研究会(HCC)	5	火		5	木		5	日		5	水		5	木	
6	土		6	月	振替休日	6	木	第11回Tグループ（清里）	6	土	第20回日本体験学習研究会全国大会（南山大学）	6	火		6	金		6	日	第23回 AI実践研究会(HCC)	6	水		6	金		6	月		6	木		6	金	
7	日		7	火		7	金		7	日	第20回日本体験学習研究会全国大会（南山大学）	7	水		7	土	第30回体験学習実践研究会(HCC)	7	月		7	木		7	土	第14回Tグループ（清里）	7	火		7	金		7	土	
8	月		8	水		8	土	第14回ラボラトリー基礎講座（HCC）	8	月		8	木		8	日	第11回Tグループフォローアップ(HCC)	8	火		8	金		8	日	第14回Tグループ（清里）	8	水		8	土	JIEL開設5周年記念事業（清里）	8	日	
9	火		9	木		9	日	第14回ラボラトリー基礎講座（HCC）	9	火		9	金		9	月		9	水		9	土		9	月	第14回Tグループ（清里）	9	木		9	日	JIEL開設5周年記念事業（清里）	9	月	
10	水		10	金		10	月		10	水		10	土		10	火		10	木		10	日	第12回Tグループフォローアップ（HCC）	10	火	第14回Tグループ（清里）	10	金		10	月		10	火	
11	木		11	土		11	火		11	木		11	日	山の日	11	水	第51回ラーニングカフェ(HCC)	11	金		11	月		11	水	第14回Tグループ（清里）	11	土	KEEP主催「インタープリターズキャンプ」（清里）	11	火	建国記念の日	11	水	
12	金	第47回ラーニングカフェ（HCC）	12	日	第10回Tグループフォローアップ（HCC）	12	水		12	金		12	月	振替休日	12	木		12	土	第13回Tグループ（越後湯沢）人間関係づくり基礎②④	12	火		12	木	第14回Tグループ（清里）	12	日	KEEP主催「インタープリターズキャンプ」（清里）	12	水		12	木	
13	土		13	月		13	木		13	土	第29回体験学習実践研究会(HCC)	13	火		13	金		13	日	第13回Tグループ（越後湯沢）人間関係づくり基礎⑤⑨	13	水		13	金	第54回ラーニングカフェ(HCC)	13	月	成人の日 KEEP主催「インタープリターズキャンプ」（清里）	13	木		13	金	
14	日		14	火		14	金	第49回ラーニングカフェ(HCC)	14	日	第1回セルフサイエンス③(HCC)	14	水		14	土		14	月	体育の日 第13回Tグループ（越後湯沢）	14	木		14	土	第3回共感でつながるアサーション（名古屋）	14	火		14	金	第56回ラーニングカフェ（HCC）	14	土	第4回AI応用講座（名古屋）
15	月		15	水	第48回ラーニングカフェ（HCC）	15	土	第28回体験学習実践研究会(HCC)	15	月	海の日	15	木		15	日		15	火	第13回Tグループ（越後湯沢）	15	金		15	日	第3回共感でつながるアサーション（名古屋）	15	水		15	土	第33回体験学習実践研究会（HCC）	15	日	第4回AI応用講座（名古屋）
16	火		16	木		16	日		16	火		16	金	第12回Tグループ（名古屋）	16	月	敬老の日	16	水	第13回Tグループ（越後湯沢）	16	土	第17回ラボラトリー基礎講座（沖縄）人間関係づくり基礎③⑪	16	月		16	木		16	日		16	月	第4回AI応用講座（名古屋）
17	水		17	金		17	月		17	水	第50回ラーニングカフェ(HCC)	17	土	第12回Tグループ（名古屋）	17	火		17	木	第13回Tグループ（越後湯沢）	17	日	第17回ラボラトリー基礎講座（沖縄）人間関係づくり基礎①⑫	17	火		17	金		17	月		17	火	
18	木		18	土	第27回体験学習実践研究会（HCC）	18	火		18	木		18	日	第12回Tグループ（名古屋）	18	水		18	金	第52回ラーニングカフェ(HCC)	18	月		18	水		18	土		18	火		18	水	第57回ラーニングカフェ（HCC）
19	金		19	日	第21回AI実践研究会（HCC）	19	水		19	金		19	月	第12回Tグループ（名古屋）	19	木		19	土	第1回セルフサイエンス・フォローアップ(HCC)	19	火		19	木		19	日	第13回Tグループフォローアップ(HCC)	19	水		19	木	
20	土		20	月		20	木		20	土		20	火	第12回Tグループ（名古屋）	20	金		20	日		20	水	第53回ラーニングカフェ(HCC)	20	金		20	月		20	木		20	金	春分の日
21	日		21	火		21	金		21	日	第22回AI実践研究会(HCC)	21	水	第12回Tグループ（名古屋）	21	土	第5回GPC（名古屋）	21	月		21	木		21	土		21	火		21	金		21	土	第24回AI実践研究会(HCC)
22	月		22	水		22	土		22	月		22	木		22	日	第5回GPC（名古屋）	22	火		22	金		22	日		22	水	第55回ラーニングカフェ（HCC）	22	土	第5回Tファシリテーター（清里）	22	日	第14回Tグループフォローアップ（HCC）
23	火		23	木		23	日		23	火		23	金		23	月	秋分の日 第5回GPC（名古屋）	23	水		23	土	勤労感謝の日 第5回チーム診断C（名古屋）	23	月		23	木		23	日	第5回Tファシリテーター（清里）	23	月	
24	水		24	金		24	月		24	水		24	土	第3回インタープリタートレーニング（清里）	24	火	第5回GPC（名古屋）	24	木		24	日	第5回チーム診断C（名古屋）	24	火		24	金		24	月	第5回Tファシリテーター（清里）	24	火	
25	木		25	土		25	火		25	木		25	日	第3回インタープリタートレーニング（清里）	25	水	第5回GPC（名古屋）	25	金		25	月	第5回チーム診断C（名古屋）	25	水		25	土	第7回AIアプローチ基礎講座（名古屋）	25	火	第5回Tファシリテーター（清里）	25	水	
26	金		26	日		26	水		26	金		26	月	第3回インタープリタートレーニング（清里）	26	木		26	土	第16回ラボラトリー基礎講座（京都）人間関係づくり基礎⑥⑩	26	火	第5回チーム診断C（名古屋）	26	木		26	日	第7回AIアプローチ基礎講座（名古屋）	26	水	第5回Tファシリテーター（清里）	26	木	
27	土		27	月		27	木		27	土	第15回ラボラトリー基礎講座（東京）	27	火		27	金		27	日	第16回ラボラトリー基礎講座（京都）人間関係づくり基礎⑦⑧	27	水	第5回チーム診断C（名古屋）	27	金		27	月		27	木		27	金	
28	日		28	火		28	金		28	日	第15回ラボラトリー基礎講座（東京）	28	水		28	土		28	月		28	木		28	土		28	火		28	金		28	土	
29	月	昭和の日	29	水		29	土	第1回セルフサイエンス①(HCC)	29	月		29	木		29	日		29	火		29	金		29	日		29	水		29	土		29	日	
30	火	国民の休日	30	木		30	日	第1回セルフサイエンス②(HCC)	30	火		30	金		30	月		30	水		30	土	AIアプローチ全国大会前夜祭	30	月		30	木					30	月	
			31	金					31	水		31	土					31	木					31	火		31	金					31	火	